



## 有限会社中村ホームガスさんが 高圧ガス保安経済産業大臣表彰 を受賞

10月23日（金）、第57回高圧ガス保安全国大会で、有限会社中村ホームガスさんが優良販売業者部門で「高圧ガス保安経済産業大臣表彰」を受賞されました。

この賞は、高圧ガスの販売所の各施設の構造、設備および販売の方法に関し、保安上の措置が特に優れている等の事業者に贈られるものです。有限会社中村ホームガスさんは地域のガス供給事業に永年ご尽力いただいています。おめでとうございます。



## 西之川原夜警の皆さんが 滋賀県知事表彰を受賞

10月3日（土）、中之郷の西之川原夜警の皆さんが滋賀県消防大会で滋賀県消防関係知事表彰の優良自衛消防隊を受賞されました。

西之川原夜警は、昭和15年の結成から約80年間、火災予防活動を行ってまいります。夕方から地域の子も達が拍子木を打ち、「火の用心」と声をかけながら地域を回り、地域の火災予防と幼い頃からの火災予防に対する意識づけを行われてきました。

このように永年の間、地域で火災予防活動に努め、地域の安心安全を築いてこられた功績が認められたものです。おめでとうございます。



## しがぎん日野経友会さんから 寄付をいただきました



町内を拠点とする企業15社で構成されている「しがぎん日野経友会」さんから、子ども達に「本」に興味を持ってもらえるようにと、学級文庫をはじめとした図書の整備のために寄付をしていただきました。

この取り組みは、町内の小学校の読書環境の一層の充実に寄与するため、毎年行われています。

今年度は桜谷小学校、必佐小学校の図書整備のために活用させていただきます。ありがとうございます。

# 「第6次日野町総合計画の策定に関する提言書」が 日野町総合計画懇話会から提出されました



平成23年度から取り組みを進めてきた第5次日野町総合計画が今年度で10年目の最終年となることから、昨年度11月に設置された日野町総合計画懇話会で、公募委員も含まれた20名の委員により、次期総合計画にかかるとまちづくりについて協議いただきました。

コロナ禍により懇話会が開催できない時期もありましたが、懇話会委員の知恵と熱意により、12回の会議と3回のワーキングで、少子・高齢化や人口減少の進展、増加する自然災害や、新型コロナウイルス感染症の脅威をはじめとするさまざまなリスクに対する危機管理について、更に公共施設等のインフラの老朽化や地方創生の推進等、町を取り巻く環境の変化や、新たな課題に対してのこれからのまちのあり方について熱心に議論されました。

そしてこの度、将来像を「時代の変化に対応しだれもが輝き」ともに創るまち「日野」とされ、5つの政策の柱をまとめられ、去る12月18日（金）、只友会（きともとも）長より「第6次日野町総合計画策定に関する提言書」として町長に答申いただきました。



提言書は、総合計画の「基本構想」「基本計画」の部分に  
関してまとめられ、3つの特徴をあげられています。

## 懇話会提言書「はこめ」より

### 第一の特徴

は、懇話会の議論に先立ち、住民へのアンケート調査、各地区・各種団体懇話会や2度のまちづくりみらいカフェ等の開催を通じて、幅広い住民の参加を求め、住民の多様な意見を拾い上げる工夫をしてきたところです。また、住民委員による当懇話会は、10年後の日野町の有るべき姿を構想し、そのためにはどのような取り組みが必要なのかを議論し、この提言書を取りまとめました。

### 第二の特徴

は、まちの未来への危機意識から取りまとめられている点です。近年の自然災害への危機感、またコロナ禍で大きく変化した「フェイス・コロナ・アフター・コロナ」の時代や、少子化・高齢化が進み、日本全体でも人口減少が進む中での危機意識を常に念頭に置きながら議論を進めてきました。

### 第三の特徴

としては、この総合計画を手懸かりに、住民と行政の協働による、「総合計画の効果を高める仕組み」の工夫についても提言をしているところです。この仕組みは、①行政が住民の暮らしの全体性・一体性に寄り添いながら、行政のそれぞれの部署の専門性の強さと機動性を活かしつつ、行政の総合的な力をつまぐバランスさせる方策。②住民自身が暮らしのそれぞれの場からまちづくりに関わる入り口を見つけられること。③住民が、それぞれの暮らしの場から住民の暮らしの全体性・一体性を見わたす視点を得られ、住民の主體的な取り組みが広がる工夫を行うことなどを例示しています。

このことは、将来像「時代の変化に対応しだれもが輝き」ともに創るまち「日野」のなかでも、「だれもが輝き」ともに創るまち「日野」と表現しておりますように、住民「だれもが輝く」ように住民一人ひとりの多様性が尊重され、行政だけではなく、行政と住民が協力し合い、また、住民同士が助けあふ「ともに創るまち」であり続ける方向性と決意を示しています。

## 日野町のめざすべき将来像

「時代の変化に対応し  
だれもが輝き」ともに創るまち「日野」

## 将来像を実現するための 5つの政策の柱

### ① 未来を担うひとづくり

政策1 子育てにやさしい風土づくり  
政策2 生涯にわたる学びと活躍の推進

### ② 暮らしを支えることづくり

政策3 生活の基盤となる町内産業の  
持続発展  
政策4 まちの魅力を活かした賑わいの創出

### ③ 安心、助けあふことづくり

政策5 健やかで思いやりのある地域  
共生社会の形成  
政策6 人と豊かな自然との共生

### ④ 住みたくなる都市基盤づくり

政策7 災害や危機への備えの強化  
政策8 居心地のいい都市環境の整備

### ⑤ みんながはこむ地域づくり

政策9 住民が主人公の地域形成  
政策10 時代の変化に柔軟に対応できる  
行財政運営

懇話会の提言を受け、時代の変化に的確に対応しつつ、住民と行政が中長期的な展望を持ったまちづくりの方向性を共有し、本町の特色を生かした魅力あるまちづくりを進める、第6次日野町総合計画を策定していきます。